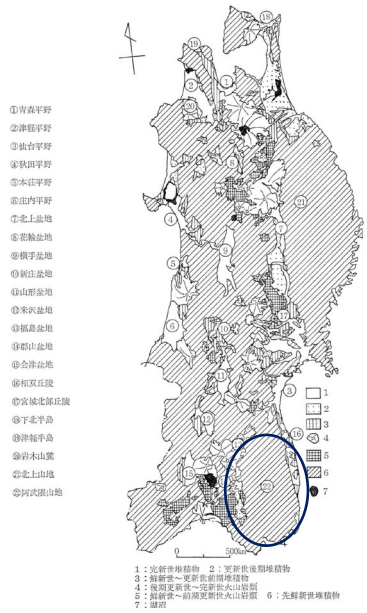
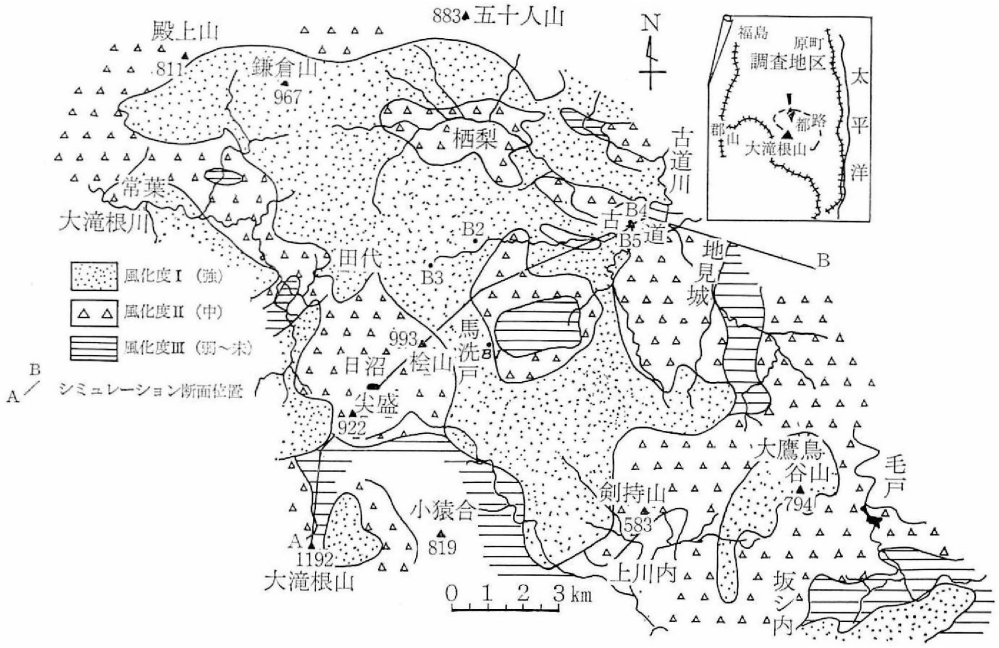
22.阿武隈山地



地形・地質

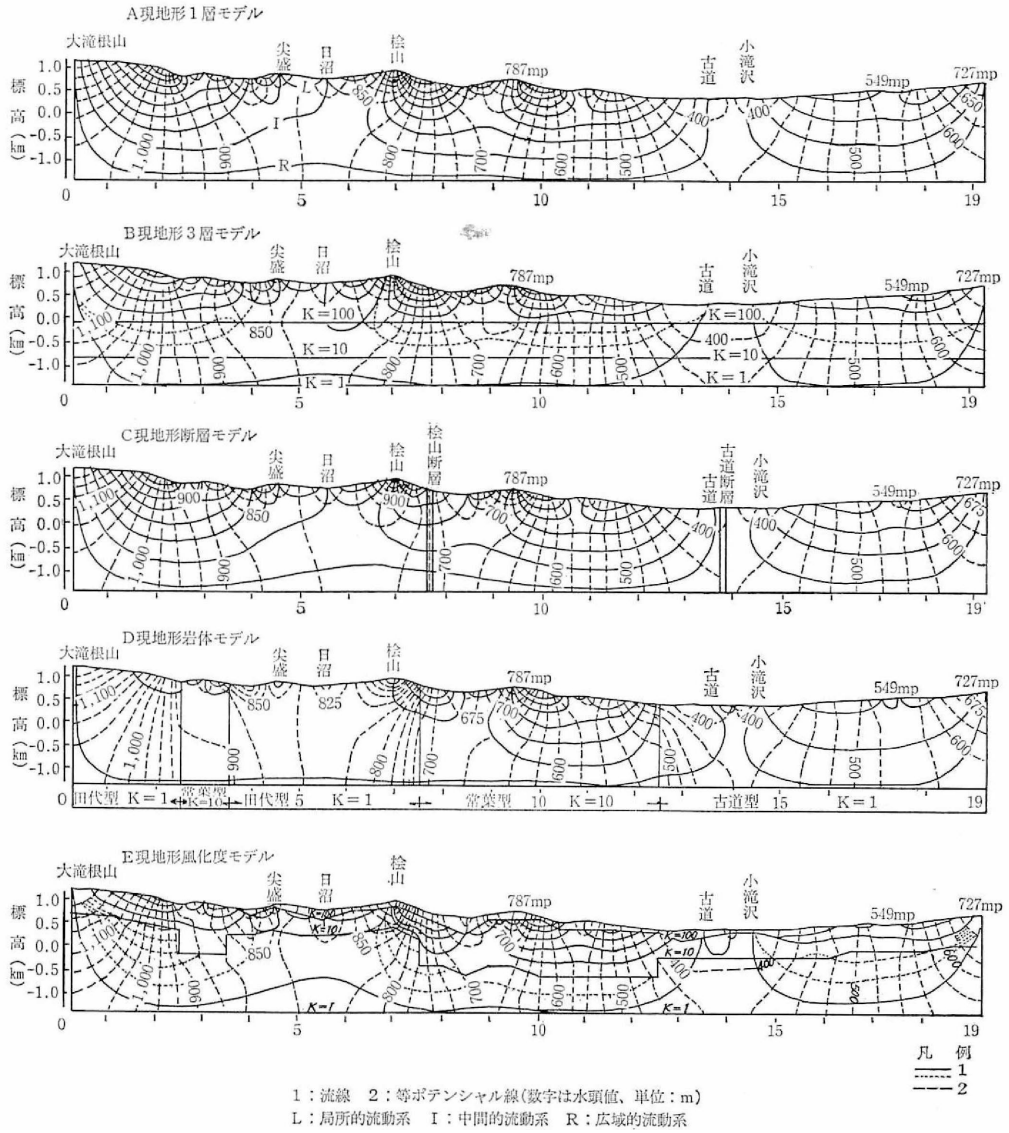
阿武隈山地は主に花崗岩類で構成されています。山地中央部，大滝根山北東部一帯では，花崗岩類に多数の断裂が発達しています。同岩類を一種の角礫岩として扱い，地下水流動系を明らかにして地下水を開発する試みがされ、成果を得ています。



風化度による地域区分

地下水

大滝根山北東部一帯における地質調査とシミュレーションの結果から，花崗岩類中で地下水を開発できる可能性の高いところは，断裂が発達する地形的低所との結果が得られました。



A-B 断面の地下水流動系

出典　日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

https://jagh.jp/activities/groundwater_database/（日本地下水学会）